



新型コロナワクチン接種コールセンター

☎0120-751-738

午前8時30分～午後5時 土・日曜日は回線数が限られます

電話のかけ間違いにご注意ください

▼詳しくは市ウェブをご覧ください

3月 集団接種の予定



3回目接種のページ



5～11歳のワクチン接種のページ

3月は全7会場での接種を予定しています。接種券は、2回目の接種日から6カ月程度が経過した方へ順次郵送しています。接種券が届き次第、コールセンターや接種予約サイトで予約できます。

3月1日現在、令和3年8月28日までに2回目接種を受けた方へ郵送済みです。

小 は、5～11歳のワクチン接種(下記事)

会場	日程																										
	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15	16	17	18	19	20	23	24	25	26	27							
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	火	水	木	金	土	日	水	木	金	土	日							
保健センター 東豊田448-3	●	●							●					●	●												
平塚プレジール 八重咲町3-8	●	●	●	●	●	●										●	●	●	●	●							
神田公民館 田村3-12-5										●	●	●	●	●													
金目公民館 南金目966	●	●																									
旭南公民館 山下1096-1				●	●	●	●	●	●																		
バッティングパレス 相石スタジアムひらつか 大原1-1	●		●	●	●	●																					
市役所別館 浅間町12-1	●							小	小	小				小	小	小			小	小	小						

交互接種

日本では現在、3回目接種は、ファイザー社製・武田/モデルナ社製のワクチンが薬事承認されています。国によると、1・2回目に接種したワクチンと異なる種類を3回目に接種(交互接種)しても、十分な効果と安全性が確認されています。

5～11歳が対象のワクチン接種

接種券は3月2日以降に順次郵送

ファイザー社製の小児用ワクチンです。接種券が手元に届き次第、予約できます。

2回目接種は、1回目接種から3週間経過後にできます。

厚生労働省は特に接種を勧める方として、慢性呼吸器疾患、先天性心疾患など、新型コロナの重症化リスクの高い基礎疾患のある方を挙げています。接種を受けるに当たっては、かかりつけ医とよくご相談ください。

小児専用 相談ダイヤルを 開設

ワクチン接種の事前相談や接種後の副反応の相談に、看護師などの有資格者が24時間対応します。

☎0120-248-023

フリーダイヤル

注意 事項

- 接種の際は、保護者が同伴してください
- なるべく母子健康手帳をお持ちください
- 原則、本ワクチン接種の前後2週間は、他のワクチンを接種できません

集団 接種

- 日程 3月11日～3月27日の金・土・日曜日
- 場所 市役所別館(浅間町12-1)
- 接種枠 1,872人分
- 予約方法 ①新型コロナワクチン接種予約サイト
②新型コロナワクチン接種コールセンター☎0120-751-738

個別 接種

- 日程 4月以降、準備できた医療機関から順次スタートします
- 場所 市内14の医療機関。詳しくは市ウェブなどにある医療機関一覧表をご覧ください

目次

- 1面…新型コロナワクチン情報
- 2～4面…**特集** 生物多様性 生きものの命をつないでいこう
- 5～7面…募集・お知らせ・健康と福祉・スポーツ・「地域の魅力再発見」・「みんなの力」
- 8面…ヒラツカルチャー・「美術館だより」

平塚市の推計人口と世帯数
<令和4年2月1日現在 ()内は前月比>
人口 257,504人…(-127)
世帯数 113,384世帯…(-69)



生物多様性

生きものの命をつないでいこう

平塚の自然と聞くと、どんな環境を思い浮かべますか。西部の丘陵や相模川・金目川、田畑、海岸―。これらの場所で命をつなぐさまざまな生きものに目を向けてみませんか。

問 環境保全課 ☎23-9969

生物多様性って？

地域を特徴付ける自然があり、環境ごとに特有の生きものがあること、そしてそれぞれが関わり合っていることです。

●生態系の多様性

森林や里山、河川、湿原など、さまざまなタイプの自然があること

●種の多様性

生きものの種類が多いこと

●遺伝子の多様性

同じ種類でも遺伝子レベルで違いがあり、個性豊かであること



カトリヤンマ



ヤマアカガエル



カヤネズミ



チダケサシ



タゲリ



ギンブナ

調査と啓発の二本柱で

私たちの生活は、身の回りのさまざまな自然や生きものが育む水や空気、食べ物など、生物多様性の恵みに支えられています。この自然のつながりを理解し、将来に引き継いでいくことが大切です。これは地球全体で取り組むべきこと。人類の課題として、日本を含む世界190の国と地域が「生物の多様性に関する条約」を締結しています。

そこで、平塚の環境がどうなっているのかを調査し、保全するために今後どうすべきなのかを考えるために「ひらつか生物多様性推進協議会」が活動してきました。市内で活動する市民団体や事業所、学識経験者などをメンバーとして、平成30年に協議会を立ち上げました」と話すのは、同協議会の荒井啓三会長(右下写真)。「メンバーの皆さんは普段から市内でフィールドワークに出掛ける方が多く、平塚の自然を熟知しています」と続けます。同協議会は平成31年からの3年間、市と協働で、①昆虫や植物など六つの班による市内の生物調査 ②調査結果から明らかになった生物多様性の現状を伝えるための啓発活動―を柱に活動してきました。



3年間の調査結果は「自然環境評価書」としてまとめて公表します(4面囲み)。その後、同評価書を基礎資料として、生物多様性を守るために

どのような行動が必要かなどをまとめたアクションプランを市がつくり出します。荒井会長は「前回、市内の自然を調査して評価書を作ってから17年もたったので、改めて良いものを作りたいという熱意が、メンバーからあふれていました。専門性が高い内容ですが、分かりやすい概要版も作るので、ぜひ手に取ってみてください」と呼び掛けます。

改めて実感しました」とほほ笑む荒井会長。「この活動を将来につなげていくために、若い世代、特に子どもたちに興味を持ってもらえたらうれしいですね。今後、大規模な調査でなくても、公園に子どもたちを集めて生きもの調べをするようなイベントができたらいいなと思っています」と意気込みます。

平塚は自然が残るまちだからこそ、一人一人が大事にしなければならぬと荒井会長は話します。「自然の中で人間が暮らしているわけで、人間が豊かに暮らすためには、生きものとのつながりが必要だと思います。子どもの頃に生きものとの触れ合い、驚いたことやきれいだと感じたことは、強く記憶に残るはず。子どもたち一人一人がこういう体験をすることで、自然を守っていく意識を育んでいくのではないのでしょうか。」



柱

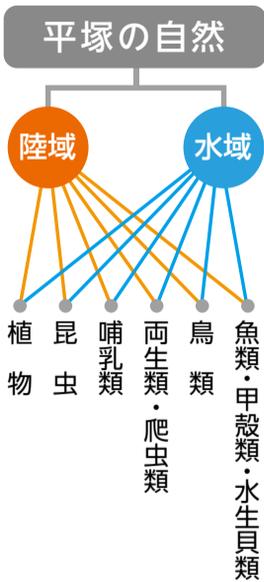
1 3年にわたる調査

協議会の岸一弘副会長(写真左)に、今回の調査のことを聞きました。岸副会長は子どもの頃から昆虫が好きで、よく平塚でフィールドワークをしていたといいます。大学卒業後に農林水産省へ入り、平成2年からは茅ヶ崎市文化資料館に勤務。動植物全般を担当することになり、昆虫以外にも知識を広げていったそうです。

平塚の環境を見ると、市街地以外の面積が広いと思います。周辺市町村に比べて地質的に古いのも特徴です。地質的に古ければ古いほど、昔からの場所に生きものがあったことになり、多様性が増すものなのです。各調査班は生きものの特性を踏まえて、時間帯や季節を変えながら調査していました。暑さ寒さの中で長時間歩いて探すので、大変なことが多かったと思います。3年間の調査時間は、全班合わせて3458時間。皆さんの努力が、この数字に表れているのではないのでしょうか。私たちが調査した生きもの名前は、皆さんにとって初めて聞くようなものばかりかもしれません。しかし、たくさん生きものがあることに気付いてもらえらると思います。私たちの調査結果を、平塚の自然に目を向けるきっかけにしたらいいですね。

調査した6班を紹介

今回の調査では、昆虫班、植物班、両生類・爬虫類班、哺乳類班が、生息していると環境がより良いとされる生きものを「指標種」と定め、これらを探しました。指標性のある生きものは数多くいますが、その中から樹林や草地、水辺などの環境別に代表的なものを選んでいきます。鳥類班、魚類・甲殻類・水生貝類班は指標種を定めず、全種を調査しました。



調査エリア(概略)

全班共通の調査エリアは、陸域(里地里山)の7カ所と、水域(河川・海岸)の4カ所。植物班、鳥類班、魚類・甲殻類・貝類班は水域でオプション地点を設けて、追加の調査をしました。



昆虫班



52の指標種のうち、49種が今回の調査で見つかりました。リーダーの堀田佳之介さん(写真左)は「見つからなかった3種の中にネグロセンブリというヘビトンボの仲間がいます。平成27年に、今回の調査エリアから離れた場所で確認されているのですが…」と悔しがります。

昆虫は種類数が多く、細かく専門家が分かれているような分野。見分けるのも大変なので、なるべく多くの人に声を掛けて調査したといいます。「生息数の少ない種は、なかなか見つかりません。時には個別に調査に出て、新たに見つければ記録するようにしました。しかし、探している昆虫がいてもおかしくない環境であっても、見つからないということはよくあります。難しいものですね」と堀田さんは話します。

昆虫には夜行性の種もいるため、暗くなってから調査に出ることもありました。「鳴き声を頼りに探した昆虫もいます。季節や時間帯で出てくる種類が違うので、回数を多く重ねる必要がありました」と振り返ります。

植物班



「目的の植物がどのような環境を好むのかを知っていたので、見当を付けて探せました」と話すのは、リーダーの恒川礼子さん。花が咲くタイミングを見計らって予定を組むなどして、調査に取り組みました。他の班から指標種を見つけたと聞けば、情報を頼りに探しに行くこともあったといいます。

49種を指標種に選んだ中、6種が今回の調査で見つかりませんでした。「中には調査エリア以外の場所で見つけた種もありました」と恒川さん。「ある場所に群生していたとしても、環境が壊されてしまったら絶えてしまいます。植物は特に、環境の変化に影響されやすいと思います。調査したエリアだけでなく、市内全体の自然を大切にしていきたいですね」。

両生類・爬虫類班



「両生類・爬虫類は活動時期が限られていて夜行性のものが多いという特徴があります」と話すのは、リーダーの瀬下浩さん。そこで、赤外線暗視スコープ(写真)を活用したといいます。

幼い頃からカエルやヘビが好きで、東海大学で生物科学を教えたこともあり、生態に詳しい瀬下さん。「カエルは産卵期にメイティングコールという鳴き声合戦をします。ヘビは臆病な性格のものが多いです。このような習性を理解し、活動時間帯に合わせて調査しなければ、なかなか出会うことはできません」と苦労を語ります。

生きものは食物連鎖の中で生きていますと話す瀬下さん。「1つの種の数が減ってしまえば、それを捕食する種も減ってしまいます。人の目に見えない部分で、命のつながりがあるものです。それを人間が無視してしまっただけではいけないと思いますね」。

鳥類班



水域で六つのオプション地点を設けて幅広く調査しました。調査は、下見をして歩くコースを決めるところからスタート。鳥を見つけた場所がどんな環境だったかまで詳細に記録しました。他にも、録音機をセットして夕方・夜・早朝に録音し、鳴き声で鳥を特定することもありました。リーダーの金子典芳さんは「例えばフクロウは、日中に見つけられることはほぼありません。暗い中だと目視できませんし、調査に出掛けるのも大変です。そこで音を頼りに調査しました」と話します。

金子さんが所属する野鳥観察グループ「こまたん」は、月3回の調査を30年以上続けています。そんな中、今回の調査では168種が確認されました。「比較できる他の地域の正式記録よりも大幅に多かったです。平塚には海・川・森・草地在り、誇れる自然環境があるということだと思います」。

哺乳類班



草地にすむ日本一小さいネズミ、カヤネズミを指標種と定めて調査しました。カヤ(イネ科などの植物の総称)がまとまって生える草地で、葉を上手に編んで巣を作ります(写真)。

魚類・甲殻類・水生貝類班



調査地点の状況に応じて網を使い分け、生きものを採集しました。その他、泳いでいる姿を目視して特定できた種類もありました。リーダーの齋藤和久さんは、金目川水系の川は、過去に比べるとひどい汚濁はなくなり、生きものが多く見られるようになってきているといいます。しかし困ったことも。「観賞魚を代表するキンギョが見つかりました。飼われていたものが放されたのではないかと思います。自然の中で生きている多様な生きものを守るために、最後まできちんと飼うことが大切ですね」。他にも、外来種が増えているという齋藤さん。「スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)などの分布が広がっています。他の班でも外来種が見つかるようになってきているので、今後の動向が気になります」。

4面でも生物多様性の活動を紹介

柱

2

取り組みを
知ってもらおう

啓発事業

春の
昆虫観察会

「虫はこの場所が好きだからここにすんでいるんだよ。みんながおうちに連れて帰ったら、おいしい食べ物もないし友達もいないからね。つかまえた虫はその場に戻そうね」
令和3年5月9日、暖かい日差しが注ぐ中、昆虫観察会の講師が参加者の子どもたちに語り掛けます。これはひらつか生物多様性推進協議会の啓発事業の一つ。岸副会長ら

が講師を務め、子どもを中心に20人が参加しました。講師の解説を聞いて、毒を持つていない安全なケムシやトンボなどを触ってみる子どもたち。両親・妹と一緒に参加した小学校5年生の阿閉仁心(左下写真)さんは「虫が好きなので来ました。トンボの目がクリクリしていて、きれいでかわいかったです」と楽しげに話していました。
岸副会長は「生きものが苦手な子どもが増えていくと聞きますが、触れた経験が少ないうのが大きく影響しているのではないかと思います。観察会などに出席すれば、

講師が生きものを紹介してくれます。そうしたら生きものに触ってみるチャンスができますよ」と勧めます。



幼稚園も
協議会の
一員に



岡崎にある平岡幼稚園が、民間事業者として協議会に参加しています。昆虫班のリーダー堀田さん(3面)は、同園の園長という一面も。間接的に、園児の発見が調査を充実させたことがあったといいます。「指標種の中でまだ見つからない種

を園児が見つけたんです。場所も明確に分かっていたので、調査結果に入れることにしました」。

同園の特徴は敷地内にあるビオトープ(写真)で、園児たちが日常的に生きものと触れ合っていること。岡崎公民館と連携して、地域住民向けに見学会を開くこともあります。園内で記録された生きものは400種ほどで、中には県のレッドデータブック(絶滅の恐れのある生物種の情報などをまとめた本)に載っているものも確認されているといいます。

「生きものと触れ合うということは、命と触れ合うということだと考えています」と力をこめる堀田さん。「子どもの頃の楽しかった出来事は、ゆくゆくその人の人生において大切なことになると考えています。園児たちには楽しい体験を通して、人間として豊かに成長してもらえたらうれしいですね」。

自ら体験
することで

生態学分野で水生生物を専門としている、東海大学教養学部人間環境学科の北野忠教授に話を聞きました。



平塚は「普通の生きものが普通にいる」環境だと思います。これは私がよく使う言葉なのですが、とても大切なことだと考えています。水辺に焦点を当ててみると、平地に田んぼがあり、川が流れ、海まで続いています。規模が大きすぎることもなく、コンパクトに自然環境の要素が詰まっています。

今回、市民団体と市と一緒に調査や啓発に取り組んでいます。今後も活動を続けていくには、市民の力が欠かせません。調査や今後のアクションプラン策定をゴールにせず、さらに進めていくことが大切です。

私の研究活動の原点は、子どもの頃に生きものと触れ合った楽しい記憶です。今回の調査に関わった皆さんも同じだと思います。今は生きもののことをインターネットで簡単に調べられる時代。でも、野外で自ら体験すると、より理解が深まり、楽しさがもっと生まれると思います。それを今の子どもたちに経験してもらおうことが、自然への親しみを持つことにつながるのではないのでしょうか。

里山を守る



土屋霊園の東にある頭無地区で、ボランティアと市と一緒に里山を守る活動をしています。ひらつか生物多様性推進協議会の調査エリアにもなっていて豊かな自然のあるこの場所を守ろうとボランティアをする人は多く、山口俊彦さんもその1人です。



「活動が始まった20年ほど前から参加しています。平塚がとても好きで、守っていききたいという気持ちが活動の原点です」と笑顔で話す山口さん。東京都国立市の出身で、子どもの頃は自然の中で遊び回っていたといいます。「58歳で早期退職し、その後の人生でライフワークのテーマを持つと考えた時に、自然に携わることを決めました」。



山口さんはこの里山をチョウのオオムラサキが飛び交う場所にしたいと活動しています。オオムラサキはエノキを好むことから、この場所で見つけた苗木を1カ所にまとめて植え替えてエノキ林をつくっています。「木が大きくなるまでに、長い時間がかかります。どれくらい先になるか分かりませんが、オオムラサキがやってきてくれるといいですね」。

他にも、木でコの字形に柵を作り、落ち葉をためた「カントリーヘッジ」もつくっています。「カブトムシなどが卵を産んで、幼虫が暮らすのに良い環境になるほか、小動物の隠れ家にもなります」。

里山は、植物が自由に伸びて動物がすむ環境とは違います。「人が手を入れ守ってきた環境だからこそ、里山といえます。人々が自然に親しみながら守ってきた場所もまた、自然なのです。荒れ果てた山になってしまったら悲しいので、できる限り活動を続けていきたいですね」。

(上)活動を楽しそうに話す山口さん(中)生きもののすみかになるカントリーヘッジ(下)令和3年12月18日、ボランティアの活動で落ち葉かきをして、幼虫の寝床をつくりました

3年間の成果をまとめます



3月18日(金)、自然環境評価書と概要版を市ウェブで公表します。冊子の概要版は3月30日(水)から、本館5階の環境保全課で配るほか、各公民館や各図書館で閲覧できます。

問 環境保全課 ☎23-9969

広報紙をより良いものとするためにウェブアンケートを実施しています。ご意見をお寄せください。右の二次元コードからアンケートページにアクセスできます。



新しい相模小学校が完成しました



新校舎は圧迫感の少ない2階建てで、校舎の屋根は家を連想させ、子どもたちに安心感を与えるとともに近隣の景観に配慮したデザインです。普通教室は南側から光を取り入れ、床・天井・家具に木材を利用することで、授業中の集中力向上などの効果が期待できます。開校は4月1日(金)です。

☎ 教育施設課 ☎35-8115



(上)2階普通教室の特徴的な三角形の天井(左下)2階への大階段。壁面には本棚があり、座って本を読むこともできます(右下)1階の普通教室と廊下との間仕切りは全面可動式です

募集

農地利用最適化推進委員

任期は5月1日(令和5年7月30日)。市内在住の方1人(選考)。詳しくは市ウェブをご覧ください。

☎ 市ウェブにある申込書を、郵送・メールまたは直接、令和4年4月1日(金)までに、本館5階の農業委員会事務局 ☎21-9851 FAX0463-21-9851 にお願いします。

人権施策推進協議会の委員

任期は5月1日から2年間。次の条件を全て満たす方2人(選考)。①市内に1年以上在住②5月1日時点で高校生を除く18歳以上75歳③市の他の付属機関の委員ではない④年3回程度平日に開く会議に出席できる。など。

わくわくマップに店舗情報掲載しませんか

パソコンやスマートフォンなどで平塚の地理情報を見られるサービスです。飲食店や小売店の取扱品目などを掲載できます。詳しくは市ウェブをご覧ください。

☎ 市ウェブや本館5階の商業観光課 ☎35-8107 FAX35-8107

募集方法

18125@shokan@に申込書を、郵送・ファクス・メールで、同課へ。

野菜作り体験教室

土曜日。全2回。荒天中止。農の体験・交流館(寺田縄451-5)。市内在住の小学生以上の方10組(抽選・中学生以下は保護者同伴)。飲み物・帽子・軍手。1組1000円。汚れてもよい服装でお越しください。

種まき・苗植え付け体験 4月23日午前10時~正午。

収穫・試食体験 7月23日午前10時~午後0時30分。

☎ 代表者の必要事項・全員の氏名を、電話・メールで、3月25日(金)までに、農の体験・交流館 ☎58-5201 FAXnosan@ にお願いします。

馬入水辺の楽校 お散歩バードウォッチング

3月12日(土)午前9時30分~午後0時30分。雨天中止。相模川河川敷の馬入水辺の楽校風車前に集合。5歳以上の方10人(抽選・小学生以下は保護者同伴)。帽子・飲み物・筆記用具。500円。

☎ 代表者の必要事項・全員の氏名・年齢を、はがき・メールで、3月5日(土)~7日

市民農園を利用しませんか

市内にある23の市民農園で野菜などを育てませんか。利用期間は2年間で、更新もできます。料金は年間8,000円~1万8,000円です。申し込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

☎ 農水産課 ☎35-8103

子どもの就職を考えるセミナー

ニートや引きこもりなどの子への効果的な関わり方を話します。個別相談会(1組30分、6組まで。要予約)もあります。

3月17日(木)午後1時30分~4時30分。青少年会館。ニートや引きこもりなどの15~49歳の方の家族30人(先着順)。

☎ 電話で、県西部地域若者サポートステーション ☎0465-32-4115へ。

記事の内容が変更される場合があります

掲載している記事の内容が急きょ変更される場合があります。各記事の内容など、詳しくは市ウェブをご覧ください。お問い合わせください。

また、各イベントなどに参加したり、公共施設を訪れたりするときは、出掛ける前に自宅で体温を測り、マスク着用の上、感染症対策をしてください。

湘南ひらつか市民演劇フェスティバル 参加団体



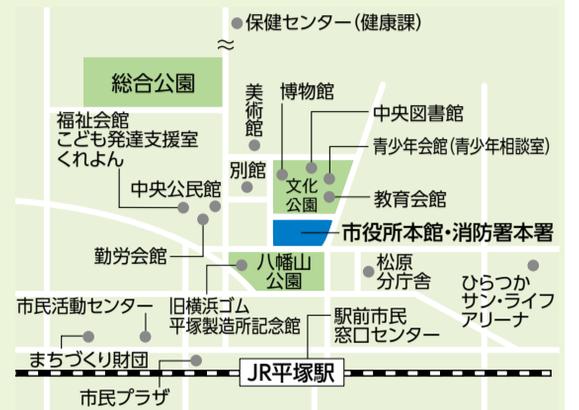
9月24日(土)・25日(日)に、ひらしん平塚文化芸術ホール(見附町16-1)で開きます。

市内に活動拠点があり、大学生以上の市民が中心となって活動している団体など(選考)。3万5,000円。

☎ 〒254-0045見附町31-10まちづくり財団文化事業課 ☎32-2237 FAX32-2240 FAXbunka@hiratsukazaidan.jp などにある申込書を、郵送・ファクス・メールまたは直接、3月31日(木)までに、同課へ。

応募方法

- ☎=応募方法 (応募が必要です)
- ☎=問い合わせ
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、3月7日(月)午前8時30分から、受け付けます。
- メールの応募の場合@以下にcity.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください。



記入例

往復はがき		郵送・ファクス・メール	
住所	氏名	イベント名	郵便番号
住所	氏名	住所	住所
住所	氏名	全員の氏名	全員の氏名
住所	氏名	電話番号	電話番号
住所	氏名	その他の事項	その他の事項

お知らせ

粗大ごみ破砕処理場への持ち込み予約

土・日曜日と祝日に加えて、4月1日(金)・4日(月)は、事前予約が必要です。3月29日(火)・31日(木)は休業日です。詳しくは市ウェブをご覧ください。

粗大ごみ破砕処理場 ☎ 22-4557

市民生活ガイドブック2022-2023を発行

暮らしに役立つ便利な情報が盛りだくさんの一冊を、3月1日に発行しました。転入者に市役所の窓口で配るほか、本館1階案内窓口や公民館などにも置いてあります。

広報課 ☎ 21-8761

マイナンバーカードの交付申請を手伝います

3月12日(土)午前10時30分～午後4時30分(整理券を午前10時から配布)。ららぽーと湘南平塚(天沼10-1)。市

パートナーシップ宣誓制度を始めます

4/1(金)から



令和4年度限定で市制90周年のロゴがプリントされます

同性・異性を問わず、人生のパートナーであることを宣誓した2人に、パートナーシップ宣誓書受領証などを交付します。

市内在住または3カ月以内に市内に転入予定の18歳以上の方。住民票の写し・現に婚姻していないことを証明する書類・本人確認書類など。

宣誓する2人の氏名(ふりがな)・代表者の電話番号・メールアドレス・宣誓希望日と時間帯(第3希望まで)を、電話・メールで、3月10日(木)から、**人権・男女共同参画課 ☎ 21-9861** 宛に。市ウェブからも申し込みます。

ひらつかシングス

4月2日(土)・3日(日)、午前8時30分～正午・午後1時～5時。
市民課 ☎ 20-8062

今回のテーマは「まちを守る若き女性消防士」です。

SCN湘南チャンネル。毎週土曜日、午後7時30分～7時45分。毎週日曜日、午後1時45分～2時。YouTubeでも配信します。

広報課 ☎ 21-8761

クレジットカード納付取扱事業者を変更

市税などの納付に利用できる「Yahoo! 公金支払い」は、3月30日(水)で取り扱いを終了します。4月1日(金)から「FIREG I 公金支払い」のウェブで納付できます。詳しくは市ウェブをご覧ください。

納税課 ☎ 21-8769

パネル展 相模人形芝居

国や県から無形民俗文化財の指定を受けている相模人形

健康と福祉

家族介護リフレッシュ

市内在住で家族を介護している方。抽選。

①3月16日(水)午前9時30分～午後0時30分。リフレッシュプラザ平塚(大神334-4)。

②17日(木)午前9時30分～午後0時30分。福祉会館。6人

③23日(水)午前9時30分～午後0時30分。西部福祉会館(公所88)。6人。

電話で、土・日曜日と祝日を除く各開催日の3日前までに、福祉会館 ☎ 33-3100へ。

パネル展 みんなで知ろう! 認知症

パネルと図書を展示します。3月8日(火)・21日(祝)の、月曜日を除く平日は午前9時～午後7時、土・日曜日と祝日は午前9時～午後5時(8日は午後1時から)。中央図書館。

地域包括ケア推進課 ☎ 20-8210

高齢者のためのスマホの使い方相談会

4月12日(火)午後1時30分～2時10分・2時50分(各30分)。福祉会館。市内在住で、スマートフォンの基本操作を知りたい60歳以上の方、各回3人(抽選)。スマートフォン500円。

必要事項・年齢を、電話・ファクス・メールまたは直接、

芝居のパネルを展示します。3月5日(土)・11日(金)午前9時～午後9時30分(11日午前9時～午後9時30分)は正午まで)。旧横浜ゴム平塚製造所記念館。

社会教育課 ☎ 35-8124
応募方法は5面

3月18日(金)までに、福祉会館 ☎ 33-2333 FAX 33-6588 kaikan@hiratsukasyakyonet。

福祉会館まつり

3月18日(金)・19日(土)午前9時30分～午後3時。福祉会館。見学は予約制。催し物の内容や申し込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

福祉会館 ☎ 33-2333

いのちと暮らしの総合相談会

生活・法律・心などの悩みを、専門家に相談できます。3月15日(火)午後5時～6時(各50分)。中央公民館。市内在住・在勤・在学の方、各回3組(先着順)。

氏名・電話番号を、電話・ファクス・メールで、福祉総務課 ☎ 21-8779 FAX 21-9742 fukushi@。

寺子屋特別教室

3月29日(火)・31日(木)、全3回。生きがい事業団(西八幡1-3-2)。各6人(先着順)。各3300円。オンラインでパソコン教室体験。午前10時～正午。Zoomを使用する方。カメラ付きノートパソコン。スマホでオンラインミーティング。午後2時～4時。スマートフォンを使用する方。スマートフォン。

必要事項・性別・生年、



地域の魅力再発見

社会教育課 ☎ 35-8124
虎女住庵の跡(旭地区)

八幡神社(山下401)の西に、虎女住庵の跡があります。虎女は大磯宿の遊女で、曾我兄弟の兄、十郎祐成の恋人でした。建久4年(1193年)、源頼朝が富士の巻狩(神事祭礼や軍事演習を兼ねた大規模な狩り)をしていたある日の夜、曾我兄弟は父のかたきである工藤祐経を討ちました。しかし、十郎もその場で討ち取られ、その知らせを聞いた虎女は出家し、ここで菩提を弔ったと伝わっています。

ひらしん平塚文化芸術ホールに行きませんか

- ①内覧会
3月26日(土)の開館に先立って開きます。19日(土)午前10時～午後1時・20日(日)午後1時～4時。
文化・交流課 ☎ 32-2235
- ②オープニングウィーク
3月27日(日)～31日(木)午前10時～午後8時。詳しくは同ホールウェブをご覧ください。
ひらしん平塚文化芸術ホール ☎ 79-9907
- ③オープンライブNEXT 出演者募集
ホールのオープンスペースで演奏などをしませんか。6月～令和5年3月の第2土曜日と第4日曜日、午前11時～午後0時30分。30分程度の演奏や実演ができる個人またはグループ、20組(選考)。
〒254-0045見附町16-1ひらしん平塚文化芸術ホール ☎ 79-9907 event@hiratsuka-hall.info.jpにある申込書にパフォーマンスの動画・画像を添えて、郵送・メールまたは直接、令和4年3月8日(火)～4月30日(土)に、同ホールへ。

SNSやメールなどを通じて、市の情報を発信しています。各サービスの概要や登録方法など、詳しくは右の2次元コードからご確認ください。



みんなの力

ふじみ野朝体操の会
会長 澤田 興三さん

継続は力なり

午前7時、ふじみ野第三公園で音楽を流し、体操をしている方たちがいます。その一番前で体操を教えているのが、ふじみ野朝体操の会で会長を務める澤田興三さん。82歳の今まで16年間続けています。

同会は、ふじみ野地区の高齢化が進んでいることを踏まえ、健康維持のために体操をしようという住民の提案で発足。「雨の日を除いて、休みは正月三が日のみ。毎朝続けています」と澤田さんは笑顔を見せます。最初は4・5人で始まった会も、今では30人ほどに。住民同士の大切な交流の場にもなっているといいます。「自分が続けられる限りは体操指導を続けていきたいですね。目標は100歳まで」と、今日も皆の前で元気に体操を始めます。



月日を、電話・ファクス・メールまたは直接、生きがい事業団 ☎33-2335 FAX35-1744 h-ikigai@ma.scn-net.ne.jp。

生きがい事業団の入会説明会と会員の体験談

説明会の後、植木班で働く会員の体験談を話します。

3月22日(火)午後1時30分～3時30分。生きがい事業団(西八幡1-3-2)。市内在住の60歳以上の方9人

スポーツ教室

スポーツ

応募方法は5面

会場は①がトッケイセキユリティ平塚総合体育館②がひらつかサン・ライフアリーナ③が総合公園テニスコート。抽選。

①楽しいフラダンス 4月12日～6月28日の火曜日、全8回、午後1時20分～2時50分。40人。4000円。
②フィットネス 4月7日～6月30日の火・木曜日、各全16回、1コースが午前9時20分～10時50分・2コースが11時10分～午後0時40分。各100人。5600円。
③いきいき若返り体操 4月8日～6月24日の金曜日、全8回、午前9時15分～10時30分。40人。3200円。
④すっきり! エアロビクス 4月15日～7月15日の金曜日、全12回、午後6時～7時。40人。4800円。
⑤パワーヨガ 4月15日～7月15日の金曜日、全12回、午後6時～7時。40人。4800円。

⑥ゆつくりエアロビクス 4月6日～6月29日の水曜日、各全8回、1コースが午前9時30分～11時、2コースが午後1時30分～3時。各40人。3200円。
⑦さわやかエアロビクス 4月9日～6月18日の土曜日、全8回、午前9時30分～11時。40人。3200円。
⑧火曜ストレッチ体操 4月12日～6月28日の火曜日、全10回、午後1時30分～2時45分。50人。4500円。
⑨すっきり・のびのび体操 4月13日～6月22日の水曜日、全10回、午前9時20分～10時50分。50人。4500円。
⑩ジュニア新体操 4月19日～10月25日の火曜日、各全16回、1コース(小学校1～3年生)が午後5時～6時、2コース(小学校4年生～中学生)が午後6時～7時。各20人。8000円。
⑪水曜ストレッチ体操 4月13日～6月22日の水曜日、全10回、午前9時20分～10時50分。50人。4500円。
⑫金曜ストレッチ体操 4月8日～6月24日の金曜日、全10回、午後1時30分～2時45分。50人。4500円。
⑬ウイークエンドヨガ 4月9日～6月18日の土曜日、全8回、午前11時10分～午後0時40分。50人。3600円。
⑭火曜太極拳 4月12日～7月5日の火曜日、全12回、午後1時20分～2時50分。50人。6000円。
⑮水曜太極拳 4月13日～7月6日の水曜日、全12回、午前9時20分～10時50分。50人。6000円。
⑯はつらつ水中体操 4月20日～6月15日の水曜日、各全8回、1コースが午前10時～10時45分、2コースが11時15分～正午。各30人。3600円。
⑰アクアビクス 4月21日～6月16日の木曜日、全8回、午前10時25分～11時25分。30人。5600円。
⑱バドミントン 4月5日～8月30日の火曜日、全10回、午前9時30分～正午。50人。5000円。
⑲楽しくリズム体操 4月21日～8月18日の木曜日、全8回、午前9時15分～10時45分。30人。4000円。
⑳ノルディックウォーキング 4月21日～6月2日の木曜日、全6回、午前11時～午後0時30分。30人。2400円。
㉑脂肪燃焼 4月12日～7月26日の火曜日、全8回、午後7時15分～8時30分。15人。4400円。
㉒テニス 4月8日～7月8日

月15日の金曜日、全12回、午後7時20分～8時20分。40人。4800円。
⑫金曜ストレッチ体操 4月8日～6月24日の金曜日、全10回、午後1時30分～2時45分。50人。4500円。
⑬ウイークエンドヨガ 4月9日～6月18日の土曜日、全8回、午前11時10分～午後0時40分。50人。3600円。
⑭火曜太極拳 4月12日～7月5日の火曜日、全12回、午後1時20分～2時50分。50人。6000円。
⑮水曜太極拳 4月13日～7月6日の水曜日、全12回、午前9時20分～10時50分。50人。6000円。
⑯はつらつ水中体操 4月20日～6月15日の水曜日、各全8回、1コースが午前10時～10時45分、2コースが11時15分～正午。各30人。3600円。
⑰アクアビクス 4月21日～6月16日の木曜日、全8回、午前10時25分～11時25分。30人。5600円。
⑱バドミントン 4月5日～8月30日の火曜日、全10回、午前9時30分～正午。50人。5000円。
⑲楽しくリズム体操 4月21日～8月18日の木曜日、全8回、午前9時15分～10時45分。30人。4000円。
⑳ノルディックウォーキング 4月21日～6月2日の木曜日、全6回、午前11時～午後0時30分。30人。2400円。
㉑脂肪燃焼 4月12日～7月26日の火曜日、全8回、午後7時15分～8時30分。15人。4400円。
㉒テニス 4月8日～7月8日

13日～6月22日の水曜日、全10回、午前11時10分～午後0時25分。50人。4500円。
⑫金曜ストレッチ体操 4月8日～6月24日の金曜日、全10回、午後1時30分～2時45分。50人。4500円。
⑬ウイークエンドヨガ 4月9日～6月18日の土曜日、全8回、午前11時10分～午後0時40分。50人。3600円。
⑭火曜太極拳 4月12日～7月5日の火曜日、全12回、午後1時20分～2時50分。50人。6000円。
⑮水曜太極拳 4月13日～7月6日の水曜日、全12回、午前9時20分～10時50分。50人。6000円。
⑯はつらつ水中体操 4月20日～6月15日の水曜日、各全8回、1コースが午前10時～10時45分、2コースが11時15分～正午。各30人。3600円。
⑰アクアビクス 4月21日～6月16日の木曜日、全8回、午前10時25分～11時25分。30人。5600円。
⑱バドミントン 4月5日～8月30日の火曜日、全10回、午前9時30分～正午。50人。5000円。
⑲楽しくリズム体操 4月21日～8月18日の木曜日、全8回、午前9時15分～10時45分。30人。4000円。
⑳ノルディックウォーキング 4月21日～6月2日の木曜日、全6回、午前11時～午後0時30分。30人。2400円。
㉑脂肪燃焼 4月12日～7月26日の火曜日、全8回、午後7時15分～8時30分。15人。4400円。
㉒テニス 4月8日～7月8日

日の水・木・金曜日、各全12回。各15人。A・Bコースは1万8000円、J1・J2コースは1万5000円、Nコースは2万1600円。
① 教室名・必要事項・年齢はがきで、3月15日(火)までに、〒254-0045見附町31-10まちづくり財団スポーツ事業課 ☎35-0102へ。同財団ウェブからも申し込みます。

スポーツ推進審議会の委員

任期は6月1日から2年間。次の条件を全て満たす方1・2人(選考)。

①市内に1年以上在住②6月1日時点で高校生を除く18歳以上75歳以下の付属機関の委員ではない③年3回程度平日に開く会議に出席できる④市ウェブや本館7階のスポーツ課 ☎31-3060 FAX34-5522などにある申込書を、郵送・ファクスまたは直接、3月31日(木)までに、同課へ。

コース	時間	対象
A	午前9時20分～10時50分	初心・初級 初中級
B	午前11時～午後0時30分	初中級
J1	午後5時～6時	小学校2～4年生
J2	午後6時～7時	小学校5年生～中学生
N	午後7時20分～8時50分	初心・初級

市民相談

- 市民相談室 ☎21-8764
- 市民生活 月～金曜日、午前8時30分～正午・午後1時～5時
- 法律(予約制) 水・木曜日、午後1時～4時
- 行政 3月7日(月)午後1時～4時
- 税理士(予約制) 3月25日(金)午後1時～4時
- 司法書士(予約制) 3月11日(金)午後1時～4時
- 多重債務(予約制) 3月8日(火)午後1時～4時
- 社労士(予約制) 3月8日(火)午後1時～4時
- 不動産(予約制) 3月18日(金)午後1時～4時
- 分譲マンション管理(予約制) 3月28日(月)午後

- 1時～4時
- 住宅(新築・リフォーム) 3月15日(火)午後1時～4時
- 消費生活センター ☎21-7530(相談専用)
- 人権相談 ☎21-9861
- 女性のための相談 ☎21-9611(相談専用)
- ヘルスアップ相談 ☎55-2111

- 高齢者健康相談(フレイル) ☎20-8217
- 来所(予約制) 月～金曜日、午前9時30分～正午・午後1時30分～5時
- 成年後見利用支援センター ☎35-6175
- 来所・電話 月～金曜日、午前9時～正午・午後1時～5時
- 暮らしサポート相談 ☎21-8813
- 来所・電話 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- 保健福祉総合相談 ☎21-8779
- 来所・電話 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- 子どもの総合相談 ☎21-9843
- 来所(予約制) 月～金曜日、午前8時30分～午後5時

- 母子・父子相談 月～金曜日、午前10時15分～午後5時
- 子ども発達支援室くれよん ☎32-2738
- 子どもの発達相談(来所・予約制) 月～金曜日、午前8時30分～午後5時
- 子育て支援センター ☎34-9076
- 未就学児対象の子育て相談・情報提供 月～金曜日、午前10時～午後3時
- 教育相談・就学相談 子どもの教育相談センター 崇善小学校北側 ☎36-6013
- 来所(予約制) 月～金曜日、午前10時～午後5時
- 電話 月～金曜日、午前9時～午後5時
- 青少年相談室 ☎34-7311

- 青少年相談 火～土曜日、午前10時～午後6時30分
- ヤングテレホン相談(青少年専用) ☎33-7830 火～土曜日、午前10時～午後6時30分
- ヤングメール相談(青少年専用) ☎y-soudan@
- 就労相談 勤労会館 ☎32-3355
- 来所(予約制・先着4人・1人50分) 3月9日(水)・23日(水)、午後1時～4時50分
- 外国籍市民相談 ☎25-2520
- 来所 15言語。対応言語や日時は市ウェブをご覧ください。
- 出入国管理・在留資格相談 ☎25-2520
- 来所(予約制) 3月22日(火)午前9時～正午



博物館

〒254 0041 浅間町12-41
☎35-2111 35-2741
FAX 31-3949
7・14・22・28日

春期特別展 掘り起こされた平塚IV 姿をあらわす遺跡たち

市内の最近の発掘調査成果を展示します。3月19日(土)～5月8日(日)。特別展示室。

① 展示解説会 見どころを解説します

4月2日(土)午前10時30分～11時30分。講堂。40人(抽選・市内在住の方を優先)。

② 関連行事 ぶらり遺跡ウォーキング 四之宮編

市内の調査された遺跡を、地形や環境に注目しながら歩きまわります。3月30日(水)午前9時30分～正午。15人(抽選・市内

在住の方を優先)。

③ イベント名・全員の必要事項を、往復はがき(一通で2人まで)で、①は3月18日(金)まで②は3月15日(火)までに、博物館へ。博物館ウェブでも申し込みます。

■ プラネタリウム 各50分。32人(当日先着順・投影日の午前9時から博物館の受付で整理券を配布)。200円、18歳未満と65歳以上の方は無料。65歳以上の方は年齢の分かるものをお持ちください。

■ 鎌倉武士が見た星空 吾妻鏡に残された天の記録 鎌倉幕府が編さんした歴史書「吾妻鏡」に記録された天文現象などを再現しつつ、当時の天文観をひもときます。3月5日(水)・31日(木)、土曜日は午

■ ハレの日の装い ハレの日に着ていた服などを展示します

4月3日(日)まで。寄贈品コーナー。

■ ポスト特別展 神奈川の大地 1億年の記憶 秋期特別展の一部を紹介します

3月27日(日)まで。情報コーナー。

■ 星を見る会 春の二重星を見よう

春の夜空に見られる二重星を望遠鏡で見ます。4月22日(金)午後7時30分～9時。雨天曇天中止。屋上。15組(抽選・1組4人まで・市

必要事項 郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号。メールで応募する場合は @hiratsuka-city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。

市博物館のYouTubeチャンネル「HIRAHAKUチャンネル」で

源頼朝を支えた平塚ゆかりの人物を紹介していきます



現在、NHKの大河ドラマをきっかけに、平安時代末期～鎌倉時代が注目されていますが、平塚の地にも、この時期に活躍した人物がいます。HIRAHAKUチャンネルで公開している「鎌倉殿と平塚の七人」は、そんな郷土の人物を紹介する動画です。

現在は第1回「真田与一義忠」と第2回「岡崎四郎義実」を公開中で、次回は3月下旬に「土屋三郎宗遠」を公開します。以降は月に1回公開していきます、全8回を予定しています。



内在住の方を優先)。

④ イベント名・全員の必要事項を、往復はがきで、4月9日(土)までに、博物館へ。博物館ウェブでも申し込みます。

■ 郷土史入門講座 平塚周辺の気象災害 江戸時代を中心に、気象災害の歴史を紹介します。3月20日(日)午前10時～11時30分。講堂。40人(抽選・市内在住の方を優先)。

⑤ イベント名・必要事項を、往復はがきで、3月9日(水)までに、博物館へ。博物館ウェブでも申し込みます。

■ 自然教室 総合公園 総合公園の自然を観察します。4月16日(土)午前9時30分～11時30分。雨天中止。総合公園。20人(抽選・市内在住の方を優先・小学生以下の方は保護

⑥ イベント名・全員の必要事項を、往復はがき(一通で2人まで)で、3月26日(土)までに、博物館へ。博物館ウェブでも申し込みます。

■ 最新天文学講座 HSTからJWSTへ ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡(JWST)の打ち上げ成功を受け、ハッブル宇宙望遠鏡(HST)のこれまでの成果やJWSTに期待されること、さまざまな宇宙望遠鏡の活躍を紹介します。4月9日(土)午後3時30分～5時。講堂。40人(抽選・市内在住の方を優先)。

⑦ イベント名・全員の必要事項を、往復はがき(一通で2人まで)で、3月26日(土)までに、博物館へ。博物館ウェブでも申し込みます。

■ キムキョニン展 陽光注ぐ広い空間で、ステンレス彫刻をお楽しみください。4月3日(日)まで。テーマホール。

⑧ 市民アートギャラリーに展示しませんか

10月～令和5年3月分の申し込みを受け付けます。抽選。1日単位で、最長は火曜日～日曜日の6日間(月曜日が祝日の場合は7日間)。1日当たり、全室1万円・A室6000円・B室4000円。平塚市・秦野市・伊勢原市・大磯町・二宮町・中井町以外の方は5割増し。

⑨ 美術館ウェブ・美術館にある申込書を、郵送・ファクス・メールまたは直接、令和

美術館

〒254 0073 西八幡1-3-13
☎35-2111 35-2741
7・14・22・28日

者同伴)。

⑩ イベント名・全員の必要事項を、往復はがきで、3月26日(土)までに、博物館へ。博物館ウェブでも申し込みます。

■ 中央図書館の特集展示 ① ところと命のサポートのための本 3月30日(水)まで。貸出室②はるですよ 30日まで。こども室③認知症を知ろう 8日(火)～21日(祝)。貸出室。

⑪ ブックスタート 絵本などが入ったバッグをプレゼント

します。市内在住の1歳未満の子どもと保護者。詳しくは、図書館ウェブをご覧ください。か、お問い合わせください。

⑫ 中央図書館

〒254 0041 浅間町12-41
☎31-0415 31-9984
7・14・22・28・31日

⑬ 中央図書館の特集展示

4年4月1日(金)～10日(日)に、美術館 art-museへ。郵送・ファクス・メールの場合は、併せて電話連絡をしてください。

美術館だより

対話による美術鑑賞

美術館 ☎35-2111



美術館では、学校連携の事業「対話による美術鑑賞」を、市民の参加者「ひらびあーつまくれ」のメンバーと一緒にしています。写真は昨年11月、花水小学校6年生の授業での一コマ。A0サイズの作品パネルを少人数のグループで鑑賞しているところ。鑑賞というと、作品や作者について知識が得られるものと考える人もいるかもしれませんが、ところが、こ

こでは一人一人が思ったことや感じたことを言葉にするという手法で鑑賞しています。人が絵を見て何かを感じたということは、画面の中にそう思わせる根拠が何かしらあります。それが何なのか、同じグループの人と探っていくと言えはよいでしょうか。

子どもたちからは、描かれているモチーフや構図に気付いたり、雰囲気や物語を感じ取ったり、さまざまな発言が出てきます。イメージが膨らんで矢継ぎ早に話す子もいれば、授業中ずっと考えている子もいます。クラスメートの話を聞いて、思いもよらない見方に感じたり、同じところを見ているのに、人によって全く見方が異なることに気付いたりします。そうこうしていきううち、不思議なことに、絵の理解が少しずつ深まっていくのです。